

Press Release : 2012年 1月 24日

欧米を中心に市販されている Xanthigen(ザンシゲン)を使った新たな研究で、フコキサンチン(褐海藻抽出物)とザクロ種子油の混合が脂肪細胞に直接働きかけることでダイエット効果が現れると述べている。

2010年に発表された二重盲検、無作為、プラセボコントロール試験の結果に基づく、フコキサンチン(褐海藻)とプニカ酸(ザクロ種子油)の混合による新たな研究結果は、脂肪組織の形成を抑制することによってダイエット効果や肝機能改善をもたらし、前駆脂肪細胞から成熟脂肪細胞への変形を抑制する可能性があるとして発表。

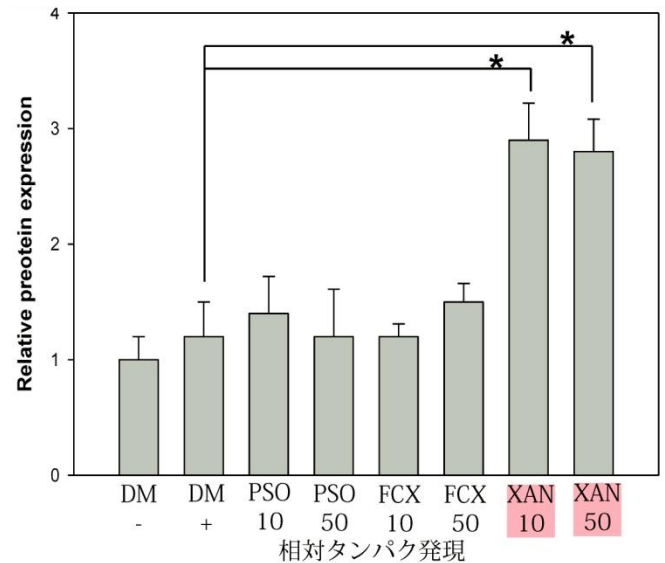
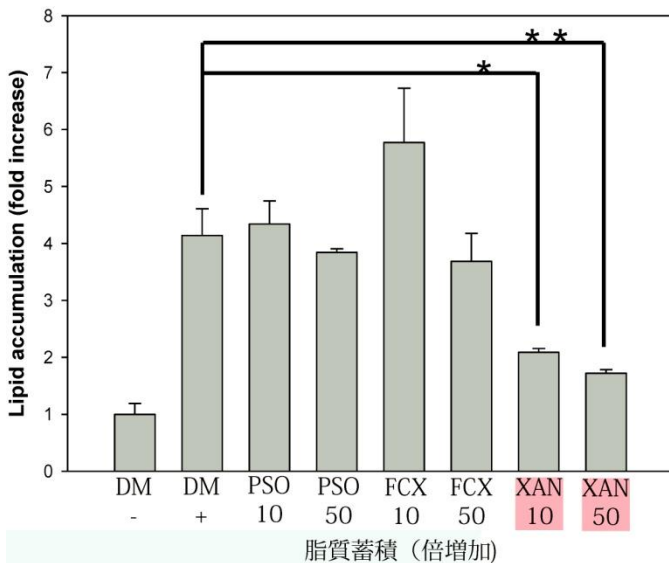
Kaohsiung Marin Univ.[国立高雄海洋科技大学] (台湾)、P.L.Thomas 社 (米国)、Polinat 社 (スペイン)、Rutgers Univ.[ラトガース大学] (米国) の研究者たちがその研究内容を Agricultural and Food Chemistry 誌で発表した。

「これらの結果は、Xanthigen(ザンシゲン)が多様な機序によって脂肪組織の形成を抑制し、肝機能改善や肥満管理に対するこのサプリメント(Xanthigen:ザンシゲン)の有用性を明らかにした。」と、本研究の共同実施者で、P.L.Thomas 社と Polinat 社の科学・医療専門の取締役であり、Vladimir Badmaev 医学博士はいう。

本研究は、2010年 Diabetes Obesity and Metabolism 誌で発表された、151名の肥満と非糖尿病のボランティアによる研究で、約5kgの体重減少が生じ、肝機能も改善したという結果と結びついた。成分は、規格化されたフコキサンチン(褐海藻由来)とプニカ酸(ザクロ種子油由来)の組み合わせで、特許出願中である。

最新データ

新しい in-vitro 試験では、成分が前駆脂肪細胞と成熟脂肪細胞に対してどのような影響があるのかを研究した。研究の結果によって、フコキサンチン(褐海藻)とプニカ酸(ザクロ種子油)の混合が脂肪細胞内での脂肪の蓄積を用量依存的に阻害すると示された。Xanthigen(ザンシゲン)にさらされることによって脂肪組織の形成(adipogenesis:アディポジェネシス)に関わるタンパクの発現が減少、人間を含む、あらゆる生物がカロリー制限をした際に活性化されるサーチュイン 1(Sirt1)にも影響を与えたと、研究者たちは言う。



「報告されている機序の中で最も興味深いのは、成熟脂肪細胞内での Sirt1 遺伝子の発現である」と Badmaev 氏は付け加える。「肥満、太りすぎ、老化などは、体や脂肪細胞内の Sirt1 遺伝子の発現を低下させる傾向にあるが、痩身や身体形成の改善は Sirt1 遺伝子の発現を増加させる、ある意味若々しい体重と身体形成に戻すと言ってもいい」

潜在的な需要

WHO (世界保健機関) は、2015年までに体重過多の消費者は15億人以上になると予測しており、この機会に科学的に実証されたダイエット商品(Xanthigen:ザンシゲン)は素晴らしい。

作用機序によってダイエット原料市場は、5つのグループに分けることができる。脂肪燃焼促進/熱産生、タンパク質分解抑制、食欲抑制/満腹増進、脂肪吸収阻害、食欲調整。Euromonitorによると、米国でのダイエット市場(食品、飲料、サプリメント)は36.4億ドル(2009年)で、西欧市場は13億ドル(2009年)である。

記事抜粋: NUTRA ingredients-usa : Pomegranate oil-seaweed combo's weight management action pinpointed?より